令和６年度

兵庫教育大学大学院同窓会総会

第43回

全国研究大会【盛岡大会】

大会テーマ　予測困難な社会を生き抜き日本や世界で活躍する人材の育成を目指して
～岩手からの提言～

主　催　兵庫教育大学大学院同窓会
主　管　兵庫教育大学大学院同窓会岩手県支部
共　催　兵庫教育大学学校教育学部同窓会
会　期　令和６年８月３日（土）・４日（日）
会　場　サンセール盛岡
〒020-0883　岩手県盛岡市志家町１－１０
TEL：019-651-3322

第43回　兵庫教育大学大学院同窓会総会･全国研究大会【盛岡大会】

大会テーマ 予測困難な社会を生き抜き日本や世界で活躍する人材の育成を目指して
～岩手からの提言～

主　催　兵庫教育大学大学院同窓会
主　管　兵庫教育大学大学院同窓会岩手県支部
共　催　兵庫教育大学学校教育学部同窓会
会　期　令和６年８月３日（土）・４日（日）
会　場　サンセール盛岡および Zoom でのハイフレックス開催
〒020-0883　岩手県盛岡市志家町１－１０　　TEL：019-651-3322

日　程

第１日目８月３日（土）

12：00～13：00　受付
13：00～13：50　大学院同窓会総会
14：00～17：45　全国研究大会　開会行事
学長挨拶及び講話
兵庫教育大学学長　加治佐 哲也　氏
教育実践研究活動等に係る表彰
教育実践発表
（Ⅰ）盛岡大学文学部児童教育学科准教授　吉田　英彰　氏
（Ⅱ）大槌町教育委員会統括教育専門官兼
兵庫教育大学教育政策リーダーコース准教授　菅野　祐太　氏
岩手県陸前高田市立高田小学校副校長　坂井ふき子　氏
記念講演　三陸鉄道株式会社代表取締役社長　石川　義晃　氏
演題「光り輝く三陸を目指して　～開業４０周年を迎えた三陸鉄道の未来～」
閉会行事

17：45～18：00　記念写真撮影
18：10～20：10　教育懇話会（情報交換会）

第２日目８月４日（日）

9：00～ 9：30　受付　JR 盛岡駅前「滝の広場」
9：30～13：30　巡検　石割桜～盛岡城跡公園～岩手銀行赤レンガ館
～盛岡七夕まつり～昼食（会場「直利庵」）
13：30　解散　直利庵（解散後盛岡バスセンターまでご案内します。）

責任担当：前川啓太郎　080-3142-8983

目　次

総会次第 …… 1

会長挨拶 …… 2

総会議案 …… 3

令和５年度退任役員 …… 13

大学院同窓会会則 …… 14

全国研究大会次第 …… 19

実行委員長挨拶 …… 20

学長講話 …… 21

教育実践等に係る表彰受賞者 …… 22

教育実践発表 …… 23

講演 …… 26

令和７年度総会・全国研究大会のお知らせ …… 28

大学への寄付のお願い …… 29

あとがき …… 31

令和 6 年度
兵庫教育大学大学院同窓会総会

令和 6 年 8 月 3 日（土）　１３：００～
於　サンセール盛岡
　　および Zoom でのハイフレックス開催

総会次第

１．　開会

２．　会長挨拶

３．　議事

　　１号議案　令和 6 年度 役員

　　２号議案　令和 5 年度　事業報告

　　３号議案　令和 5 年度（第 42 期）　会計決算報告

　　４号議案　令和 6 年度 事業計画

　　５号議案　令和 6 年度（第 43 期）　会計予算

４．　退任役員への感謝状贈呈

５．　令和７年度総会・第４４回全国研究大会【高知大会】開催予告

６．　その他

７．　閉会

大学院同窓会活動にご理解を

兵庫教育大学大学院同窓会長　新居 寛

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。ひとことご挨拶を申し上げます。先ずは、本日、公私ご多用の中、加治佐学長様はじめ、大学の役職員の皆様にご来賓としてご臨席たまわりましたことに深く感謝申し上げます。私たち兵庫教育大学大学院同窓会に、今後ともお力添えいただきたく存じます。

さて、この５年間は臨機応変な対応、時として場当たり的な対応ととられかねない危なっかしい舵取りをしてまいりました。就任当初の４つの重点も思うようになりませんでした。就任半年後から、新型コロナという未知のウイルスが世界中で猛威をふるい、同窓会活動の妨げとなりました。そんな中で、リモート会議、メール会議等の新しい活動スタイルを模索し続けてまいりました。「５類移行」と言っても、新型コロナの脅威がなくなるまでの間は、このような対応を余儀なくされるでしょう。この間、専横な行動を厳に慎み、小さな改革を積み重ねてまいりました。ご理解・ご協力、よろしくお願いします。

ところで、これまで本学は創立以来、日本の教育を代表する学術の専門性、実践において常に注目され、高い評価を受けてきました。同窓生が日本の教育を支えているといっても過言ではありません。そして、教職大学院の先陣を切り、教育諸課題に関する難局を乗り越えるべく、教育のトップリーダーとして勇往邁進しています。

同窓会といたしましても、同窓会の機能、特に現職の同窓生のネットワークを存分に活用し、母校発展と社会貢献の一翼を担いたいと考えています。特に以下の四点に重点を置き、初心を忘れず、同窓会活動を推進していくつもりです。

まず、第一に、変化の激しい時代に柔軟に対応できる学び続ける同窓会、同窓生であること。第二に、大学に貢献できる同窓会であるために、毎年、全国大会を開催し、兵庫教育大学の教育活動、教育推進を支援するとともに、大学の認知度をさらに高めること。第三に、同窓生の中で立派に研究実践されている方を表彰し、支援することです。本日の盛岡大会でも、地元での実践活動を発表していただくことになっております。そして、四点目は、同窓会会則や各部の動き、ブロック体制の見直しなどを含めて検討し、新たな指針と具体策を示して、実行していこうと企画しております。令和５年度中に本部役員会で共通理解が得られたものについては、さらに議論を重ね推進してまいります。

これらの目標の達成は役員だけではできません。皆様のお力添えが不可欠です。同窓生の皆様におかれましては、これまで以上に同窓会の活動に関心を持っていただき、主体的かつ積極的に参画していただきますよう心からお願い申し上げます。

結びに、本日の全国研究大会が成功裏に終わりますよう、ご協力よろしくお願いいたします。

1号議案

令和６年度　兵庫教育大学大学院同窓会役員（案）

会　　長	新居　寛（兵庫）				
副 会 長	専門部長代表 船本秀忠（兵庫）			ブロック長代表 渡邉哲郎（山口）	
専門部長	組織部長 梶原正史（山梨）	総務部長 船本秀忠（兵庫）	研究部長 大前泰彦（和歌山）	会計部長 佐々木勇（岡山）	広報部長 大畑和典（広島）

相 談 役	武　泰稔（岡山）	吉田　廣（兵庫）	大橋　博（兵庫）	川村庸子（岩手）

監　　事	監事長 北山鎮道（岡山）	監事 田中嘉明（兵庫）	監事 中園大三郎（大阪）	監事 毛利直巳（島根）

事務局長	山口　文和（兵庫）	院生協代表	土井健司（前期会長）	坂元海星（後期会長）

ブロック	理事				
	ブロック長	副ブロック長			
北海道・東北	小山文明（岩手）	水野和男（北海道）	村石好男（宮城）	後藤あゆみ(北海道)	柏﨑勇人（秋田）
			山本　勉（岩手）	岩井澤通代（岩手）	
関東	清水政義（東京）	小川　孝（埼玉）	野田不二夫（東京）	向井　隆盛（埼玉）	牧　雅英（千葉）
中部・東海 （組織部）	森　　社（岐阜）	下條英子（福井）	松村敏幸（岐阜）	勝俣得男（静岡）	山田達夫（静岡）
近畿① （総務部）	仲島尚子（兵庫）	村瀬敏則（京都）	八木眞由美（兵庫）	大中美幸（兵庫）	西井一雄（兵庫）
			山口偉一（兵庫）	池上誠朗（兵庫）	
近畿② （研究部）	雲井　稔（大阪）	徳永加代（大阪）	村田卓生（大阪）	和田博之（大阪）	松田雅代（大阪）
			上田　幸司（大阪）	竹原章雄（大阪）	
近畿③ （研究部）	岸本秀章（奈良）	大前泰彦（和歌山）	山中賢司（奈良）	三宅康文（奈良）	西端幸信（和歌山）
東中国・四国 （会計部）	鷲見寛幸（鳥取）	野村ゆかり（高知）	藤原彰二（鳥取）	小田幸伸（岡山）	後藤陽三（愛媛）
			門屋　浩（愛媛）		
西中国 （広報部）	渡邉哲郎（山口）	津田和也（広島）	藤原尚幸（島根）	勝田　章（島根）	兼房高広（広島）
			波佐間 清（山口）	西川敏之（山口）	
九州・沖縄	草場聡宏（佐賀）	船津勇一（大分）	藤本岳大（福岡）	川﨑健二（佐賀）	

支　部　代　表			
北海道	水野　和男	**京　都**	村瀬　敏則
青　森	**西澤　亨一**	**兵　庫**	船本　秀忠
岩　手	山本　　勉		**尼子　尚公**
宮　城	**渥美　寿彦**		仲島　尚子
秋　田	**髙橋　正規**	**大　阪**	村田　卓生
山　形	**本田　　礼**		**井上　温子**
福　島	人選中		和田　博之
茨　城	**吉田　重郎**	**奈　良**	岸本　秀章
栃　木	**駒田　郁夫**	**和歌山**	西端　幸信
群　馬	人選中	**鳥　取**	藤原　彰二
埼　玉	小川　　孝	**岡　山**	小田　幸伸
千　葉	牧　　雅英	**徳　島**	**田村　明敏**
東　京	野田不二夫	**香　川**	**野島　　悟**
神奈川	**児玉　祥一**	**愛　媛**	**武田　明敏**
新　潟	**碓井　欣一**	**高　知**	野村ゆかり
富　山	人選中	**島　根**	毛利　直巳
石　川	人選中	**広　島**	津田　和也
福　井	下條　英子	**山　口**	渡邉　哲郎
山　梨	梶原　正史	**福　岡**	藤本　岳大
長　野	人選中	**佐　賀**	草場　聡宏
岐　阜	**中西　茂治**	**長　崎**	**平戸　健吉**
静　岡	**神尾　義敬**	**熊　本**	**八間川隆彦**
愛　知	**加藤　有悟**	**大　分**	**小池　楠男**
	榊原　貴久（名古屋）	**宮　崎**	**衣笠　高広**
三　重	**大森　雅彦**	**鹿児島**	**松山　武史**
滋　賀	**西谷　　淳**	**沖　縄**	**津留　一郎**

※明朝体は前ページ役員等との兼務

2号議案

令和５年度　兵庫教育大学大学院同窓会　事業報告（案）

※[神戸]:神戸Ｃで対面開催、[Zoom]Zoomでオンライン開催、[神戸･Zoom]神戸Cと Zoom のハイフレックス開催

年 月 日		全体行事・専門部等事業	大学との連携事業	
R5 6 月	5(月) 7(水) 初旬 17(土)	全国大会案内・会報等送付（全修了生） 院生協前期総会/船本副会長出席 R4 会計決算報告･R5 予算案作成 ⇒会計部 定例役員会［神戸・Zoom］ ⇒総務部（準備・進行　以下同様）	5(月) 中旬 17(土)	大学からの資料送付（全修了生） 共同研究採択通知、事務手続 連携会議［神戸・Zoom］
7 月				
8 月	5(土) 6(日) 中旬	総会・第 42 回全国研究大会【大阪・奈良・和歌山大会】［大阪府教育会館］ ⇒大阪・奈良・和歌山支部 巡検（奈良方面） 会報編集計画、記事収集 ⇒広報部	5(土)	教育実践研究表彰・学長講話
9 月	30(金) 下旬	R5 後期助成金申請期限 都道府県別大学院同窓会名簿の作成 ⇒事務局	中旬	大学院同窓会研究助成金の採択事務
10 月	初旬	R5 後期助成金予算配分委員会［メール］		
11 月	18(土) 下旬	本部役員会［神戸・Zoom］⇒総務部 ﾌﾞﾛｯｸ・支部活動状況調査 ⇒組織部	2(木)	共同研究論文集「学校教育コミュニティ第 13 号（電子版)」発行
12 月	初旬 初旬 20(水)	同窓会入会案内作成 ⇒事務局 院生協 R5 後期総会/船本副会長出席 教育実践研究論文集 vol.5（電子版）発行 ⇒研究部		
R6 1 月	初旬 下旬	支部会員名簿作成・送付（希望支部）		
2 月	初旬 初旬 17(土) 20(火)	ﾌﾞﾛｯｸ・支部活動状況調査まとめ ⇒組織部 会報編集会議 ⇒広報部 本部役員会［Zoom］ ⇒総務部 教育実践研究論文集 vol.5（冊子版）発行	1(木) 中旬	共同研究論文集「学校教育コミュニティ第 13 号（冊子版）発行 研究助成金による成果発表会/事務局出席
3 月	5(火) 31(日)	同窓会報（第 48 号）発行 ⇒広報部 R6 表彰推薦書･教育実践研究論文提出期限	22(金)	学位記授与式・謝恩会 /船本副会長来賓出席、教育実践研究論文集・同窓会報等配布
4 月	21(日) 30(火)	被表彰者選考委員会［Zoom］ R6 前期助成金申請期限	3(水) 初旬 30(火)	入学式･新入生歓迎会/船本副会長来賓出席 R5 修了生・卒業生、R6 新入生の個人情報データ調査 R5 共同研究報告書、R6 共同研究申請期限
5 月	中旬 18(土) 下旬 31(金)	R6 前期助成金予算配分委員会［メール］ 本部役員会［神戸・Zoom］⇒総務部 全国大会案内・会報等送付（全修了生） R5 会計監査 ⇒監事	中旬 下旬 29(水)	R6 共同研究選定委員会 名簿登録情報調査大学資料送付(全修了生) 修了生・卒業生連携センター会議

① 専門部会は随時開催する。
② 同窓会情報の発信や会員連絡ツールとしてメールやHyokyo-netを活用する。
③ 会員情報は修了生・卒業生連携センターで管理する。
④ 会員情報の変更はHyokyo-netやメール（office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp）で常時受け付ける。
⑤ 支部は修了生・卒業生連携センターと協力し、会員の不明情報の補完に努める。

令和5年度 ブロック・支部活動報告

掲載期間　2023年1月～2024年5月

支部名	活動日（予定も含む）			場所・方法	活動内容等	参加人数
	年	月	日			
北海道	2024	3	9	ハイフレックス	支部研修会 講演:望月昇平氏(大学院同窓生、阿寒湖義務教育学校養護教諭) 参加者全員の活動報告と意見交換、総会	12名
岩手県	2024	1	6	サンセール盛岡(ハイフレックス)	「教育・学びの未来を創造するスクール・プラットフォーム　岩手大会」 〇講演 「自律した学習者を育てる教師の養成に向けて～教員養成フラッグシップ大学兵庫教育大学の取組～」 講師　吉水　裕也　氏(兵庫教育大学副学長) 〇パネルディスカッション テーマ「これからの社会で活躍する人材を育むために」 パネリスト 菅野　祐太　氏　(大槌町統括教育専門官兼兵庫教育大学准教授) 千葉　絢子　氏　(元岩手県議会議員) 岩舘　智子　氏　(岩手県PTA連合会前会長) 及川　浩純　氏　(盛岡大学附属高等学校長) 〇グループ討議 テーマ「今、児童生徒に必要な力を学校・家庭・地域・行政で考える」 コーディネーター 佐々木寿洋　氏(盛岡市教育委員会教育次長兼学校教育課長)	34名
京都府	2024	2	3	大学コンソーシアム京都（キャンパスプラザ）	講話 「教員養成の現状」浜松学院大学　大森直也教授 現派遣中M2　2名の研究報告	9名
大阪府 奈良県 和歌山県	2023	8	5･6	大阪府教育会館（たかつガーデン）	第1日目8月5日(土) ・総会 ・全国研究大会 表彰式・学長挨拶及び講話(加治佐 哲也学長) 教育実践発表 Ⅰ「小学校低学年における多文化共生教育の可能性と課題」大阪府　山田 文乃氏 Ⅱ「中学校『特別の教科　道徳』の授業設計　―初任者指導教員の視点から―」 奈良県　三宅 康文氏 Ⅲ「つながろう湯浅！　―人と人とがつながる家庭教育支援―」 和歌山県　長田 和浩氏 記念写真撮影 教育懇話会(情報交換会) 第2日目8月6日(日) ・巡検　興福寺・国宝館～猿沢の池周辺	83名
和歌山県	2023	8	5	ハイフレックス方式 和歌山信愛大学 ｵﾝﾗｲﾝ(ZOOM)	令和5年度　和歌山県支部総会 令和5年度　和歌山県支部研修会 研究発表タイトル「低天井下における子どもの活動内容に関する研究　-保育施設の総合遊具に着目して- 発表者　前島美保 先生(第41期)	150名
鳥取県	2024	1	14	エキパル倉吉	兵庫教育大学大学院同窓会鳥取支部総会 研究発表(学校改善プラン) 学校経営コース2年　①河上慎一朗　②山﨑邦夫	12名
島根県	2023	1	28	島根県民会館	「特別支援教育」研修会①　講師　吉川早苗先生	4名
		3	25	同上	「特別支援教育」研修会②	5名
		5	27	同上	「特別支援教育」研修会③	5名
		7	29	朝日公民館	「特別支援教育」研修会④	5名
		8	20	zoomで実施	「須田副学長講演会」 テーマ:兵庫教育大学の現状と最近の教育改革について	5名
		9	30	島根県民会館	「特別支援教育」研修会⑤	5名
		12	2	島根県民会館	「特別支援教育」研修会⑥(事例研究会)	5名
	2024	1	27	島根県民会館	「特別支援教育」研修会⑦(事例研究会)	5名

令和5年度 ブロック・支部活動報告

掲載期間　2023年1月～2024年5月

支部名	活動日（予定も含む）			場所・方法	活動内容等	参加人数
	年	月	日			
岡山県	2023	12	2～3	高梁市文化交流館等	東中国・四国ブロック研修会 ・高梁市のGIGAスクール・高梁市の高校魅力化 ・石村嘉成展　・方谷の道視察等	19名
	2024	1	6	ピュアリティまきび	兵庫教育大学岡山会令和5年度新年会 ・総会 ・研究発表会　第41期大天真由美　第40期川上はる江 ・懇親会	28名
山口県	2023	8	26	下関市教育センター	総会 修了生論文紹介（2名・口頭と紙上による） 個人研究発表（1名） 講演（須田副学長による）オンラインで	30名
愛媛県	2023	12	2	高梁国際ホテル	東中国・四国ブロック研修会（岡山県大会）参加	1名
	2024	1	27	松山市道後温泉にぎたつ会館	愛媛うれしの会総会・意見交換 講演会（実践発表）「コミュニティ・スクールの現状と一事例の紹介」 上島町立弓削小学校教頭　井出　和宏 氏	8名
宮崎県	2023	6	21	郵送・メール	支部代表業務引継ぎ	2名
沖縄県	2023	8	11	てだこホール（対面）	同窓会沖縄支部の活性化策について	17名

※ 役員会、打合会、懇親会等は記載していません。

3号議案

兵庫教育大学大学院同窓会　第42期（令和5年度）会計決算報告（案）

自　令和５年６月１日　～　至　令和６年５月３１日

【一般会計】

（収入の部）

科目	予算額（円）	決算額（円）	増減（円）	摘要
繰越金	4,106,446	4,106,446	0	第41期会計より繰越
会費	3,689,120	3,719,120	30,000	会費15,000円×248名=3,720,000円 送金手数料880円を差し引いた額
共同研究経費	1,000,000	954,720	△ 45,280	共同研究経費の全額13件
雑収入	34	48	14	預金利息
収入合計	8,795,600	8,780,334	△ 15,266	

（支出の部）

科目		予算額（円）	決算額（円）	残額（円）	摘要
総務部	役員会費	600,000	728,330	128,330	役員会旅費（6,11,5月）
	事務費	25,000	770	△ 24,230	両替手数料
総務部計		625,000	729,100	104,100	
研究部	印刷製本費	250,000	149,670	△ 100,330	教育実践研究論文集vol.5
	事務費	30,000	10,220	△ 19,780	振込手数料・郵送料
研究部計		280,000	159,890	△ 120,110	
広報部	会報印刷費	250,000	221,430	△ 28,570	同窓会報48号
	事務費	10,000	440	△ 9,560	振込手数料
広報部計		260,000	221,870	△ 38,130	
組織部	ブロック会議経費	100,000	30,220	△ 69,780	2ブロック
	支部活動助成金	300,000	247,963	△ 52,037	9支部
	事務費	40,000	4,180	△ 35,820	振込手数料
組織部計		440,000	282,363	△ 157,637	
事務局費	渉外費	15,000	0	△ 15,000	慶弔費
	印刷費	100,000	82,370	△ 17,630	同窓会案内　総会関係冊子等
	旅費	30,000	16,100	△ 13,900	院生協総会・役員来賓出席旅費等
	事務費	250,000	203,308	△ 46,692	感謝状・記念品・需用費・会議費等
事務局費計		395,000	301,778	△ 93,222	
総会運営費		500,000	500,000	0	大阪・奈良・和歌山 40万円 盛岡 10万円
院生協活動助成費		100,000	100,000	0	院生協活動の補助
兵庫教育大学研究助成金		1,000,000	1,000,000	0	一人20万円×5名
共同研究経費		1,000,000	954,720	△ 45,280	13名
計		4,600,000	4,249,721	△ 350,279	
予備費		4,195,600	0	△ 4,195,600	予算の予備費は（収入合計）－（支出合計）で計上している。
支出合計		8,795,600	4,249,721	△ 4,545,879	

収入決算合計	8,780,334 円
支出決算合計	4,249,721 円
差引残高	4,530,613 円

差引残高は、第42期一般会計の収入（繰越金）に充てます。

【運営積立金会計】

運営積立金は、同窓会活動の継続および必要不可欠な出費に備えて平成29年6月より定額預金（10年満期）として預けているものです。

現在高

科目	金額（円）	摘要
預 入 額①	10,195,100	平成29年6月5日預入
貯金利子②	7,041	預入日～令和6年5月までの利子
税　　額③	1,078	
税引後元利合計金額 (①＋②-③)	10,201,063	

運営積立金は、次年度も継続して預けます。

以上　第42期一般会計および運営積立金会計について報告いたします。

兵庫教育大学大学院同窓会　　会　　長　　新居　　寛
同　　会計部長　　佐々木　勇

会計監査報告

第42期一般会計及び運営積立金会計を監査した結果，正確であることを認めます。

令和6年5月31日

兵庫教育大学大学院同窓会　　監事長　　北山　鎮道
同　　監　事　　田中　嘉明
同　　監　事　　中園大三郎
同　　監　事　　毛利　直巳

4号議案

令和６年度　兵庫教育大学大学院同窓会　事業計画（案）

※［神戸］：神戸Cで対面開催、［Zoom］Zoomでオンライン開催、［神戸・Zoom］神戸CとZoomのハイフレックス開催

年 月 日		全体行事・専門部等事業	大学との連携事業	
R6. 6月	5(水) 初旬 15(土)	院生協R6前期総会/副会長出席 R5会計決算報告(案)作成　⇒会計部 R6会計予算(案)作成　⇒会計部 定例役員会[神戸・Zoom]⇒総務部	1(土) 中旬 下旬 15(土)	同窓会員動向調査開始(全修了生) 大学院同窓会研究助成金の採択事務 共同研究採択通知、事務手続 大学院同窓会連携会議・情報交換会
7月	初旬	教育実践研究表彰に係る表彰状・記念品 退任役員へ感謝状・記念品作成　⇒事務局	10(水)	同窓会員動向調査修了
8月	3(土) 4(日)	R6総会・第43回全国研究大会【盛岡大会】 [サンセール盛岡] ⇒岩手県支部 巡検(盛岡市内) 会報編集計画、記事収集　⇒広報部	3(土)	教育実践研究表彰・学長講話
9月	30(月) 下旬	R6後期助成金申請期限 都道府県別大学院同窓会名簿の作成	中旬 下旬	大学院同窓会研究助成金の採択事務 共同研究論文集「学校教育コミュニティ」第14号(電子版)発行
10月	初旬 下旬	R6後期助成金予算配分委員会［メール］ 教育実践研究論文集vol.6(電子版)発行 ＝研究部	上旬	修了生・卒業生連携センター会議②
11月	16(土) 下旬	本部役員会[神戸・Zoom] ﾌﾞﾛｯｸ・支部活動状況調査　⇒組織部 役員選考委員会	初旬	共同研究論文 助成金論文を図書館学術リポジトリに登録
12月	上旬 上旬 中旬	「同窓会入会案内」作成　⇒事務局 院生協R6後期総会/会長出席 役員選考委員会	中旬	「同窓会入会案内」送付
R7. 1月	下旬	支部会員名簿作成・送付(希望)　⇒事務局 教育実践研究論文集vol.6(冊子版)発行	中旬	共同研究論文集「学校教育コミュニティ」第14号(冊子版)発行
2月	初旬 15(土) 下旬	ﾌﾞﾛｯｸ・支部活動状況調査まとめ　⇒組織部 会報編集会議　⇒広報部 本部役員会[Zoom]　⇒総務部 役員選考委員会	中旬	大学院同窓会研究助成金による研究成果発表会/事務局出席
3月	初旬 31(月)	同窓会報(第49号)発行　⇒広報部 R7表彰推薦書・論文提出期限	21(金) 22(土)	学位記授与式/会長来賓出席[加東C] 〃　/会長来賓出席[神戸]
4月	中旬 下旬 30(火)	被表彰者選考委員会[Zoom] 役員選考委員会 R7前期助成金申請期限	3(水) 6(日) 初旬 30(火)	入学式/会長来賓出席[加東C] 〃　/会長来賓出席[神戸] R6 修了生・卒業生、R7 新入生の個人情報データ調査 R6 共同研究報告書・R7 申請期限
5月	中旬 17(土) 下旬 下旬	R7前期助成金予算配分委員会[メール] 本部役員会[神戸・Zoom]　⇒総務部 全国大会案内・会報等送付(全修了生) R6会計監査　⇒監事	中旬 下旬 下旬	R7 共同研究選定委員会 修了生・卒業生連携センター会議① 大学資料送付(全修了生)

① 専門部会は随時開催する。
② 会員情報の変更はHyokyo-netやメール（office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp）で常時受け付ける。
③ 同窓会員動向調査（登録情報調査）を実施し、最新情報に更新する。
④ 支部は修了生・卒業生連携センターと協力し、会員の不明情報の補完に努める。

5号議案

兵庫教育大学大学院同窓会　第43期（令和6年度）予算（案）

自　令和６年６月１日　～　至　令和７年５月３１日

【一般会計】

（収入の部）

科目	42期決算額（円）	43期予算額（円）	摘要
繰越金	4,106,446	4,530,613	第42期会計より繰越
会費	3,719,120	4,035,000	令和6年度同窓会費
共同研究経費	954,720	1,000,000	大学より入金
雑収入	48	387	預金利息
収入合計	8,780,334	9,566,000	

（支出の部）

科目		42期決算額（円）	43期予算額（円）	摘要
総務部	役員会費	728,330	800,000	役員旅費等
	事務費	770	25,000	需用費・旅費・会議費等
総務部計		729,100	825,000	
研究部	印刷製本費	149,670	200,000	教育実践研究論文集vol.6
	事務費	10,220	30,000	振込手数料・郵送料・需用費等
研究部計		159,890	230,000	
広報部	会報印刷費	221,430	250,000	同窓会報47号
	事務費	440	10,000	需用費・旅費・会議費等
広報部計		221,870	260,000	
組織部	ブロック会議経費	30,220	100,000	ブロック活動の支援
	支部活動助成金	247,963	300,000	支部活動の支援
	事務費	4,180	40,000	需用費・旅費・会議費等
組織部計		282,363	440,000	
事務局	渉外費	0	15,000	慶弔費等
	印刷費	82,370	100,000	同窓会案内　総会関係冊子等
	旅費	16,100	230,000	会長役員来賓出席旅費等
	事務費	203,308	130,000	感謝状・記念品・zoom契約料・需用費・会議費等
事務局費計		301,778	475,000	
総会運営費		500,000	500,000	補助金：盛岡40万円　高知10万円
院生協活動助成費		100,000	100,000	補助金：院生協議会
兵庫教育大学研究助成金		1,000,000	1,000,000	寄附金：院生への研究助成金　20万円×5人
共同研究経費		954,720	1,000,000	共同研究採択者に給付
支出合計		4,249,721	4,830,000	
予備費		0	4,736,000	予備費は予算の（収入合計）-（支出合計）で計上している。
総計		4,249,721	9,566,000	

【運営積立金会計】

運営積立金は、同窓会活動の継続および必要不可欠な出費に備えて平成29年6月より定額預金（10年満期）として預けているものです。

現在高　　10,201,063　円を一端解約して、再び10年満期の定額預金に預け直します。

支出の予定はありません。

以上　第43期一般会計および運営積立金会計について提案いたします。

令和6年8月3日

兵庫教育大学大学院同窓会　　会　　長　　新居　　寛

同　　会計部長　　佐々木　勇

令和５年度　退任役員

同窓会役員をお務めいただき、本会の発展にご尽力くださいました次の方々が、令和 5 年度末をもって役員を退かれました。本部活動はもとより、支部活動の牽引役としてその功績は非常に大きいものです。これまでのご貢献に深く感謝の意を表します。

また、一定の要件を満たされた方には感謝状と記念品をお贈りいたします。

氏　名	支　部	期	退任時の役職
青木　雅夫	群　馬	4	群馬県支部代表
菅野　恭介	兵　庫	16	事務局長

兵庫教育大学大学院同窓会会則

（昭和 57 年２月 24 日制定）

第１章　総　則

第１条　この会は，兵庫教育大学大学院同窓会（以下「本会」という。）と称する。

第２条　本会は会員相互の親睦を図るとともに，大学との連携を推進して，学校教育に関する諸問題について意見を交流することを目的とする。

第３条　本会は前条の目的を達成するための次の事業を行う。

１　総会及び研究会の開催

２　会報等の発行

３　その他本会の目的達成に必要な事業

第２章　会　員

第４条　本会の会員は次のとおりとする。

１　正会員

２　特別会員

第５条　正会員は兵庫教育大学大学院修了者及び在学者とする。

第６条　特別会員は兵庫教育大学に在職又は在職した教職員とする。

第３章　役　員

第７条　本会に次の役員を置く。

１	相談役	若干名
２	会長	１名
３	副会長	２名
４	専門部長	各部１名
５	ブロック長	各ブロック１名
６	副ブロック長	各ブロック１名
７	理事	若干名（同窓会事務局長，院生協代表を含む）
８	監事	若干名（内１名を監事長とする。）
９	支部代表	各支部１名

第８条　役員の任務は次のとおりとする。

１	相談役	会務全般の相談に応じる。
２	会長	本会を代表し会務を掌理する。
３	副会長	会長を補佐する。
４	専門部長	本会の運営にあたり，専門部の会務を司る。
５	ブロック長	ブロック内支部間の調整を図り，ブロックの会務を司る。
６	副ブロック長	ブロック長を補佐する。
７	理事	本会の運営にあたる。
８	監事	本会の会計及び事業を監査する。
９	支部代表	支部の会務を司る。

第９条　役員の選出方法は次のとおりとする。

１　第７条第１項から第８項の各役員は，役員選考委員会で選考し，総会において承認する。

２　支部代表は，各都道府県支部において選出する。支部代表選出に関し必要な事項は，別に定める。

第 10 条　役員の任期は、２年とする。

ただし，欠員を生じた場合の後任の役員の任期は，前任者の任期の残余の期間とする。

２　前項の規定による役員は，再任されることができる。

３　会長については，３期（６年）を上限とする。

第4章　役員選考委員会

第11条　役員選考委員は，役員の中から選出する。同選考委員会の運営に関し必要な事項は，別に定める。

第5章　顧　問

第12条　本会に顧問を置くことができる。

第13条　顧問は特別会員の中から若干名を会長が委嘱する。

第14条　顧問は会務に関し会長の諮問に応ずる。

第6章　会　議

第15条　総会は正会員をもって構成し本会の重要事項を審議・議決する。

2　総会が開催できない場合は，役員会での審議・議決をもって総会の審議・議決に代えることができる。ただし，以後の総会で報告しなければならない。

第16条　役員会は第7条に規定する役員をもって構成し，本会の重要事項を審議する。

第17条　本部役員会は，第7条に規定する役員のうち，会長，副会長，専門部長，ブロック長，副ブロック長（ただし，専門部を設置していない4ブロック），監事長，事務局長，院生協代表をもって構成する。

2　本会の重要事項に関して審議し，企画・運営の調整を図るものとする。

第18条　議事はすべて出席者の過半数をもって決する。

第7章　専門部

第19条　第3条に規定する事業を実施するため，専門部を置く。

2　専門部の運営に関し必要な事項は，別に定める。

第8章　ブロック・都道府県支部・部会

第20条　本会はブロックを置く。

第21条　本会は都道府県に支部を置く。

第22条　本会は専攻コースに部会を置く。

第23条　ブロック・支部・部会に関し必要な事項は，別に定める。

第9章　会　計

第24条　本会の経費は会費及びその他の収入をもって充てる。

第25条　正会員は入会時に会費として1万5千円を納める。ただし，納入された会費は返還しない。

第26条　本会の会計は一般会計と特別会計（総会会計）とする。

第27条　本会の会計年度は毎年6月1日に始まり，翌年の5月31日に終わる。

第10章　雑　則

第28条　本会則の変更は総会の決議による。

第29条　本会の運営に関し必要な事項は役員会が別に定め，総会に報告する。

第30条　本会の事務局を兵庫教育大学におき，事務局長が事務を統括する。

附　則　本会則は，昭和57年2月24日に制定する。

中略

平成 25年8月3日に改正し，平成25年6月1日から適用する。

〃 26年8月9日改正

令和元年8月3日改正

令和3年7月31日改正し，令和3年6月1日から適用する。

兵庫教育大学大学院同窓会専門部運営に関する細則

（平成 25 年 8 月 3 日制定）

（目的）

第１条　この細則は兵庫教育大学大学院同窓会（以下同窓会という）会則（昭和 57 年２月 24 日制定）第 19 条の規定に基づき，必要な事項を定めることを目的とする。

（専門部）

第２条　本会に次の専門部を設ける。

１　総務部
２　会計部
３　研究部
４　広報部
５　組織部

（専門部の構成・担当ブロック）

第３条　各専門部は，部長と理事により構成する。

２　専門部の担当ブロックは，原則として，次のとおりとする。

（１）総務部　近畿①ブロック
（滋賀県，京都府，兵庫県）
（２）会計部　東中国・四国ブロック
（鳥取県，岡山県，徳島県，香川県，愛媛県，　高知県）
（３）研究部　近畿②・近畿③ブロック
（大阪府，奈良県，和歌山県）
（４）広報部　西中国ブロック
（島根県，広島県，山口県）
（５）組織部　中部・東海ブロック
（新潟県，富山県，石川県，福井県，山梨県，長野県，岐阜県，静岡県，愛知県，三重県）

（専門部の役割）

第４条　本会の目的を達成するため，次の役割を担って専門部会の活動を行う。

１　総務部　会務に関する一般事務並びに総会及び諸会議の開催事務に関すること。
２　会計部　会計事務に関すること。
３　研究部　学校教育の諸問題を主題とした研究会及び研究上の情報交換に関すること。
４　広報部　会報の編集及び発行に関すること。
５　組織部　組織の整備に関すること。

兵庫教育大学大学院同窓会ブロック組織に関する細則

（平成 24 年 7 月 28 日制定）

（目的）

第１条　この細則は，兵庫教育大学大学院同窓会（以下「同窓会」という。）会則（昭和 57 年２月 24 日制定）第 23 条の規定に基づき，必要な事項を定めることを目的とする。

（ブロック）

第２条　同窓会は，組織の単位として，次の各号に掲げるブロックを置く。

（１）北海道・東北ブロック
　北海道，青森県，岩手県，宮城県，秋田県，山形県，福島県

（２）関東ブロック
　茨城県，栃木県，群馬県，埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県

（３）中部・東海ブロック
　新潟県，富山県，石川県，福井県，山梨県，長野県，岐阜県，静岡県，愛知県，三重県

（４）近畿①ブロック
　滋賀県，京都府，兵庫県

（５）近畿②ブロック
　大阪府

（６）近畿③ブロック
　奈良県，和歌山県

（７）東中国・四国ブロック
　鳥取県，岡山県，徳島県，香川県，愛媛県，高知県

（８）西中国ブロック
　島根県，広島県，山口県

（９）九州・沖縄ブロック
　福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県，宮崎県，鹿児島県，沖縄県

（ブロック長及び副ブロック長）

第３条　各ブロックにブロック長を１人及び副ブロック長を１人置き，同窓会理事の中から，役員選考委員会において選考する。

２　ブロック長は，次の各号に掲げる任務を行う。

（１）各ブロック内での活動の統括・連携及び連絡調整に関すること。

（２）各ブロック内での支部の活性化及び支部の支援に関すること。

（３）各ブロックとの連携に関すること。

（４）その他各ブロックに関すること。

３　副ブロック長は，ブロック長を補佐する。

（代表ブロック長）

第４条　同窓会長は，ブロック長の中から代表ブロック長を指名する。

２　代表ブロック長は，各ブロック長との連絡調整を行う。

附　則　本規則は，平成 25 年８月３日に改正し，平成 25 年６月１日から適用する。

支部代表選出に関する細則

（昭和 59 年８月 24 日制定）

（目的）

第１条　この細則は，兵庫教育大学大学院同窓会（以下同窓会という）会則（昭和 57 年２月 24 日より施行）第９条第２号の規定に基づき，支部代表の選出について必要な事項を定めることを目的とする。

（選出方法）

第２条　支部代表の選出方法は次のとおりとする。

1　各都道府県支部において，それぞれ１名を選出する。ただし、政令指定都市等で別途支部代表が必要な場合は役員会の承認を得て２名以上とすることができる。

2　大阪府支部及び兵庫県支部においては，支部の必要に応じて支部代表を３名まで選出できる。

3　各支部は，選出した支部代表名を総会までに同窓会事務局へ報告する。報告がない場合は前任者の留任とみなす。

附　則　本細則は平成９年８月 23 日改正

本細則は平成 25 年８月３日に改正し，平成 25 年６月１日から適用する。

本細則は令和５年８月５日に改正し，令和５年６月１日から適用する。

役員選考委員会運営細則

（昭和 58 年８月 27 日制定）

（目的）

第１条　この細則は兵庫教育大学大学院同窓会会則（昭和 57 年２月 24 日制定）第 11 条の規定に基づき，役員選考委員会の運営について必要な事項を定めることを目的とする。

（任務）

第２条　役員選考委員会は次期役員を選考し，役員会で了承を得た後，総会に報告することを任務とする。

（役員選考委員の選出）

第３条　役員選考委員は，役員の中から若干名を互選する。

附　則　本細則は，平成 25 年８月３日に改正し，平成 25 年６月１日から適用する。

令和６年度

兵庫教育大学大学院同窓会　全国研究大会

開催日　令和６年８月３日（土）・４日（日）
於　　サンセール盛岡他

大会次第

第１日目　８月３日（土）　14：00　～　17：45

１．開会行事
　⑴ 主催者挨拶　　⑵ 来賓紹介
２．学長挨拶並びに講話
　「兵庫教育大学の新しい取組」
　兵庫教育大学　学長　　加治佐 哲也　氏
３．教育実践研究活動等に係る表彰
４．研究実践発表
（Ⅰ）研究発表「指導と評価」
　発表者：盛岡大学文学部児童教育学科准教授　吉田　英彰　氏
　「算数教育における共調整の効果　－指導と評価の一体化の検証－　」
（Ⅱ）研究発表「復興教育」「防災教育」
　発表者：大槌町教育委員会統括教育専門官兼
　　兵庫教育大学教育政策リーダーコース准教授　菅野　祐太　氏
　「大槌の教育復興における地域の存在に関する考察」
　発表者：岩手県陸前高田市立高田小学校副校長　坂井ふき子　氏
　「被災地におけるいわての復興・防災教育の推進」
５．記念講演
　講師：三陸鉄道株式会社　代表取締役社長　石川　義晃　氏
　演題「光り輝く三陸を目指して　～開業４０周年を迎えた三陸鉄道の未来～」
６．閉会行事
７．記念写真撮影　　17:55　～　18:10
８．教育懇話会（情報交換会）　18:15　～　20:15
　※オープニングで「滝沢市さんさ踊り保存会」の
　　方々が出演します。

第２日目　８月４日（日）　９：00　～　13：30

受付　　９：00～９：30　　JR 盛岡駅前「滝の広場」
巡検　　９：30　　巡検　石割桜 ～ 盛岡城跡公園～岩手銀行赤レンガ館
　　～ 盛岡七夕まつり ～ 昼食（会場「直利庵」）
解散　　13：30 頃　直利庵（解散後盛岡バスセンターまでご案内します。）
備考　　・JR 盛岡駅までの交通費は各自でお願いします。
　　・巡検参加費 3,000 円（昼食代）、当日集合場所にて徴収します。

岩手から全国、そして世界へ・・・

第 43 回盛岡大会実行委員長　　山本　勉

兵庫教育大学大学院同窓生の皆様、ようこそ岩手、盛岡へいらっしゃいました。岩手県支部会員一同、心より歓迎いたします。

岩手県支部としては 18 年ぶり３回目となります第 43 回全国研究大会を本県で開催できますことを、たいへん光栄に思います。岩手の地で、全国の皆様と交流できますことは大きな喜びであり、開催にあたりご指導賜りました同窓会及び大学関係者の皆様に、改めて感謝と御礼を申し上げます。今大会は、より多くの会員の皆様にご参加いただけるよう、対面参加とともにオンライン参加を併せたハイフレックス方式といたしました。学長講話や教育実践発表、記念講演等の各プログラムを通して、学びを深め、活発に交流しながら、有意義な研究大会となりますことを期待しております。

さて、本研究大会のテーマは、「予測困難な社会を生き抜き、日本や世界で活躍する人材の育成を目指して」と設定いたしております。複雑で急速に激しく変化する現代社会そして未来を生き抜いていくためには、子どもたちが、自分を価値ある存在と認識し、多様な他者と協働しながら、夢の実現を目指し、未来を切り開いていく資質・能力を身に付けることが必要です。岩手では、2011 年３月 11 日に発生した東日本大震災を教訓とし、「いわての復興教育プログラム」を教育の軸に据えて、13 年間、教職員と子どもたちの育成に努めてまいりました。そして、その目指すところを見事に体現してくれていますのが、岩手が生んだスーパースター大谷翔平選手です。彼は、花巻東高校２年生進級直前というタイミングで被災しました。大谷選手は、津波で実家を失ったチームメイトに寄り添い、チームの絆をよりいっそう深め、この年の夏、甲子園出場を果たしました。そして、MLB に移籍してからも、プレーや行動、発言を通して、日本の子どもたちに熱いメッセージを送り続けてくれています。震災という経験を乗り越え、震災から学び、夢を追い続け、努力を重ねてきた結果が、現在の大谷選手の姿です。野球選手としての能力のみならず、その人間性も高く評価される大谷翔平選手は、まさに私たち教育関係者が目指すべきゴールであると言えます。

ご参会の皆様におかれましては、全国からお集まりいただきました会員の方々との交流とともに、ぜひとも岩手県支部会員との交流も深めていただき、岩手の風土を体感してもらえれば嬉しく思います。また、岩手の教育事情や教育実践が、少しでも会員お一人お一人の今後の研究や実践の糧となれれば幸いです。

最後に、兵庫教育大学並びに同窓会の益々のご発展と、会員の皆様のより一層のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、大会開催のご挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

学長講話

「兵庫教育大学の新しい取組」

兵庫教育大学 学長　　加治佐 哲也　氏

＜メモ＞

教育実践研究活動等に係る表彰受賞者

本表彰は平成 22 年から実施しています。兵庫教育大学大学院学校教育研究科の修了生本人または構成員とする団体の教育実践研究活動等における顕著な成果や功績に対して、学長と同窓会長の連名で表彰を行うものです。令和 6 年度は役員推薦２名、教育実践研究論文 3 件 4 名が受賞されます。

役員推薦

賞	氏　名	主な教育実践研究活動	専攻・コース・期
嬉野賞	大谷　哲弘 （京都府）	・2010 年より 6 年間、岩手県立総合教育センター支援指導部教育支援相談担当の研修指導主事として、児童生徒への支援、教育相談やカウンセリング等で若手教員の指導に当たった。また、『いわて「いじめ問題」防止・対応マニュアル』の作成に尽力した。 ・2011 年の東日本大震災後に、岩手県教育委員会事業「いわて子どものこころのサポートチーム」や「心とからだの健康観察分析チーム」の一員として、被災した児童生徒の心のケアに尽力した。同時に、「沿岸被災高等学校におけるスクールカウンセラー」として、被災した高等学校の支援を行った。 ・現在は、立命館大学産業社会学部現代社会学科の教授として、変化の激しい現代社会の諸問題を解明するために、多角的な視点から考えることを学生に指導している。	学校教育学専攻・臨床心理学コース 28 期
嬉野賞	川村　庸子 （岩手県）	・岩手を代表する女性教育者で、釜石市の中学校を皮切りに県内の中学校で教育に当たり校長職を務めた。現在もなお、社会に開かれた教育課程を目指した活動や若手教員の指導にあたっている。 ・本学大学院第 8 代同窓会長として 2 期 4 年にわたり、同窓会の発展に寄与された。前回岩手大会では、発表者として登壇。今回盛岡大会では顧問として大会運営に関わった。また、共に学ぶ同志とともに「コミュニティスクール構想」を岩手県全域に推進している。 ・「生涯にわたって学ぶ。」を自ら実践し、本学大学院で昼間コース、夜間コースと二度にわたって学び、今も学び続けている。 ・教育に対する崇高な理想と、瞬時の判断力を有し、教育者として、管理職として、そして同窓会長として、場に応じた判断や適応力を発揮され、同窓会を牽引してきた。	学校教育専攻･教育方法コース 4 期 教育実践高度化専攻･教育政策リーダーコース･38 期

教育実践研究論文（奨励賞）

氏　名	論文のテーマ	専攻・コース・期
甲斐　　順 （神奈川県）	ペアによる音読指導を重視した英語授業実践	教科･領域教育専攻･言語系コース(英語) 20 期
宮川　雄基 （兵庫県）	自閉症・情緒障害特別支援学級における、人間関係調整力・自己調整力の向上を目指して取り組んだ特別活動及び自立活動の実践	教育実践高度化専攻･授業実践リーダーコース 31 期
日光　恵利 （富山県） 川口めぐみ （香川県）	保育学生の伝統的な遊びの実施状況と認識に関する研究	人間発達教育専攻・幼年教育コース・36 期 人間発達教育専攻・幼年教育コース・36 期

教育実践発表

（１）研究発表「指導と評価」

「算数教育における共調整の効果」
　－指導と評価の一体化の検証－

盛岡大学文学部児童教育学科　吉田 英彰　准教授

＜メモ＞

（Ⅱ）研究発表「復興教育」「防災教育」

「大槌の教育復興における地域の存在に関する考察」

大槌町教育委員会統括教育専門官兼兵庫教育大学
教育政策リーダーコース　菅野 祐太 准教授

＜メモ＞

「被災地におけるいわての復興・防災教育の推進」

岩手県陸前高田市立高田小学校　坂井ふき子 副校長

＜メモ＞

講演

「光輝く三陸を目指して
～開業４０周年を迎えた三陸鉄道の未来～」

三陸鉄道株式会社代表取締役社長　石川 義晃　氏

三陸鉄道

講師プロフィール

石川義晃（いしかわ よしあき）（62 歳）

職歴

・1984 年４月　岩手県奉職
・2018 年４月　沿岸広域振興局長
・2020 年４月　文化スポーツ部長
・2021 年４月　政策企画部長
・2022 年３月　岩手県退職
・2022 年４月　三陸鉄道㈱代表取締役社長（至現在）

※　2010 年４月～2013 年３月 岩手県教育員会事務局教育企画室企画課長

＜メモ＞

令和７年度　兵庫教育大学大学院同窓会総会
第 44 回全国研究大会【高知大会】の概要

１ 開 催 日 令和７年(2024 年)7 月 26 日(土) 27 日(日)

２ 会 場 「オーテピア」(仮予約)(高知市追手筋２－１－１　℡ ０８８－８２３－８２２４)

３ 大会組織

相 談 役：鷲見　寛幸　　(17 期　自然系コース（理科）　鳥取県支部)
委 員 長：野村　ゆかり　　(37 期　教育政策リーダーコース　高知県支部)
副委員長：宮地　暁男　　(15 期　障害児教育　高知県支部)
副委員長：藤原　彰二　　(27 期　スクールリーダーコース　鳥取県支部)
副委員長：小田　幸伸　　(37 期　教育政策リーダーコース　岡山県支部)
副委員長：武田　明敏　　(20 期　社会系コース　愛媛県支部)
副委員長：田村　明敏　　(１期　社会系コース　徳島県支部)
事務局長：山﨑　茂利　　(12 期　教育基礎コース　高知県支部)

４ 開催方法 ハイフレックス方式を予定

５ 内 容

12:00 受付
13:00 同窓会総会
14:00 研究大会
① 開会行事
② 学長挨拶並びに講話
③ 研究発表：「学校教育に社会教育・生涯学習の横ぐしをさす」
ⅰ「社会教育士のネットワークで、人づくり、つながりづくり、地域づくり」(仮題)
高知県教育委員会生涯学習課　高知市教育委員会学校教育課　高知市首長部局
高知大学地域協働学部　兵庫教育大学教職大学院教育政策リーダーコース修了生等)
ⅱ 『「社会教育魂」を活かした学校づくり・地域づくり』(仮題)
安田　隆人（岡山県教育庁生涯学習課　地域学校協働活動アドバイザー)
④ 記念講演：「高知になぜ漫画文化が生まれたのか」(仮題)
講師：高知市立横山隆一記念まんが館　　館長　田所　菜穂子氏　　(交渉中)
⑤ 閉会行事（17：00 終了を予定)
※ 終了後、記念撮影

６ 情報交換会
会場　「おらんくや」(18：00～20：30 を予定)

７ 巡検　　高知市内を散策　桂浜・坂本龍馬記念館　牧野植物園　等を予定しています。
※ 社会教育士がファシリテーターになって案内いたします

８ その他

オーテピアとは、高知県立図書館と高知市民図書館の合築によるオーテピア高知図書館、オーテピア高知声と点字の図書館、高知みらい科学館の３館からなります。複合施設として３つの施設がそれぞれの機能を十分に発揮しながら、相互に連携を図ることで、さまざまな人々との交流が深まり、高知県内の生涯学習や文化の発展に寄与します。　※オーテピア施設要覧より

会場周辺には、高知城、高知城歴史博物館、文学館などの施設やひろめ市場や日曜市、よさこい踊りの本会場となる追手筋などがあり、高知市観光のメッカという場所に位置しております。

あなたの力で教育は変わる。

高い実践的指導力を備えた教員の養成に取り組む、
兵庫教育大学基金へのご寄付をお願いします。

兵庫教育大学基金
HYOGO UNIVERSITY OF TEACHER EDUCATION FUND

兵庫教育大学基金への ご協力のお願い

日頃から、兵庫教育大学の教育研究に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学は、文部科学大臣から教員養成フラッグシップ大学の指定を受け、中教審「『令和の日本型教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」への対応や教員免許更新制の発展的解消に伴う研修制度の創設など、新たな発展の段階に入り、教育研究の益々の発展のため、邁進しているところです。

皆様におかれましても、本学の発展及び学生の教職をはじめとする将来の夢をつなぐために、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

兵庫教育大学　学長　加治佐　哲也

お申し込み方法は裏面をご覧ください ▶

兵庫教育大学基金へご寄付いただく方法と加東市と神戸市の実施するふるさと納税を通じてご支援いただく方法があります。

兵庫教育大学基金へのご寄付

添付しております振込用紙により、ゆうちょ銀行・郵便局窓口からご寄付いただけます。
振込用紙は2種類ありますので、ご注意ください。

①プロジェクトを選んでご寄付する場合の振込用紙
②事業を選んでご寄付いただく場合の振込用紙

※各プロジェクト・事業の詳細は、ウェブサイトでご確認ください。

ウェブサイトから、クレジットカード決済／コンビニ決済／インターネットバンキング決済（Pay-easy）の払込方法により、ご寄付いただくこともできます。

≪兵庫教育大学ウェブサイト「兵庫教育大学基金」≫
URL：https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin/

加東市と神戸市の実施するふるさと納税を通じてご支援いただけます。

ふるさと納税を通じたご支援

加東市と神戸市が実施するふるさと納税にご寄付いただき、使途を特定していただくと、寄付金のうち一定額が兵庫教育大学に助成されます。
ふるさと納税をされた方は、寄付額のうち2,000円を超える部分について、所得税と住民税から差し引かれるため、寄付者の実質的な負担は、2,000円となります（控除される額は、収入等に応じて一定の上限があります）。また、返礼品を受け取ることも可能です（当該市にお住まいの方を除きます）。

加東市版

ウェブサイトからご寄付いただけます。

https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin/kato_furusato_tax.php

神戸市版

ウェブサイトからご寄付いただけます。

https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin/furusato-tax.php

兵庫教育大学基金
HYOGO UNIVERSITY OF TEACHER EDUCATION FUND

あなたの力で教育は変わる。

高い実践的指導力を備えた教員の養成に取り組む、
兵庫教育大学基金へのご寄付をお願いします。

▼お申し込みは
ウェブサイトから

https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin/

兵庫教育大学基金事務室（総務企画課総務チーム）　E-mail：gen-kikin@ml.hyogo-u.ac.jp

あとがき

同窓生の皆様並びに関係者の皆様、この度は、令和６年度兵庫教育大学大学院同窓会総会・全国研究大会盛岡大会に、ご多忙のなか全国各地からご参加くださり、衷心より御礼申し上げます。また、オンラインで参加してくださった皆様も本当にありがとうございました。

思い起こせば、令和２年度の北海道大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために開催が見送られ、翌年にオンラインでの開催となりました。令和４年度の愛知大会もオンラインでの開催となり、我慢の期間が続きました。コロナ禍を経て、昨年度の大阪・奈良・和歌山大会は、感染症予防に配慮しつつ４年ぶりの対面方式での開催となりました。私も参加させていただきましたが、８０名を超える先生方の熱意が会場に充満していて、対面のよさを改めて実感した次第です。北海道、愛知、大阪・奈良・和歌山と受け継がれて来たバトンを、岩手が今回引き継ぐことになり、責任の重さをひしひしと感じながら準備を進めて参りました。それと同時に、北海道、愛知、大阪・奈良・和歌山の同窓会員の方々が、大変な状況の中で試行錯誤を重ねながら開催してくださったおかげで盛岡大会ができるのだと感謝の思いが湧いて参りました。

今大会のテーマは、「予測困難な社会を生き抜き、日本や世界で活躍する人材の育成を目指して」ですが、岩手らしさを打ち出すために「岩手からの提言」という副題を設定いたしました。2011 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生してから 13 年が経ちました。この間、岩手では、東日本大震災津波の教訓から「生きる」ことの意義を見つめ、夢を持ち、岩手で、世界で活躍する人材の育成を目指して取組を進めてきました。研究発表では、その取組の一端を紹介させていただきました。今大会を通して、予測困難な社会を生き抜き、それぞれが活躍することができるようにするために、私達が果たすべき役割は何かを考えていただけたのであれば幸いです。

折しも盛岡は、2023 年 1 月 12 日にアメリカのニューヨーク・タイムズが発表した「2023 年に行くべき 52 か所」で、イギリスの首都ロンドンに続き 2 番目に紹介されました。また、大会当日は「盛岡さんさ踊り」の開催と重なっておりますので、国内外から訪れた観光客で賑わっていることと存じます。折角の機会ですので、杜の都盛岡の魅力を存分に感じて帰っていただきたいと願っているところです。

盛岡大会が終わりましたら、高知にバトンを引き継ぎます。高知初の記念すべき大会が盛会に開催されますよう、岩手同様に皆様からご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご臨席を賜りました大学関係の皆様並びに同窓会の事務局・本部役員の皆様、そして岩手県支部実行委員の皆様に心より感謝申し上げます。

兵庫教育大学大学院同窓会　盛岡大会
実行委員会事務局長　　小山　文明

神秘の絶景「八幡平ドラゴンアイ」

兵庫教育大学大学院同窓会

〒673-1494　兵庫県加東市下久米 942-1

電 話　0795-44-2406　2375

ＦＡＸ　0795-44-2376

E-mail　office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp